

健全育成シリーズ (22)
携帯は「いじめ」を変えた



メール、ネット、写真、音楽、テレビ、ゲーム、電子マネーなど携帯電話は生活のさまざまな場面で使われています。しかし、便利で楽しい反面、悪意を持った見えざる相手とつながる危険性もあります。

文部科学省の調査によりすると、中高生の7割が、何らかの携帯トラブルにあっています。そして、携帯は「いじめ」を変えました。

携帯「いじめ」の特徴

①匿名性

誰の書き込みか分からないので、大変不気味です。

②遠隔性

携帯によるいじめは、離れた所からいつ起こるか分からない恐怖があります。

③5分ルール

子どもたちには、5分以内にメールの返事をするルールがあります。遅くなるといじめのターゲット。すぐに返事が送れるように、ご飯やお風呂

呂の時でも片手に携帯を持っています。

④非対面性

顔を見て話すのと違い、メール文章を相手がどんな表情で読んでいるか分かりません。

⑤拡散・保存性

ネット上のいじめ書き込みやいじめ画像は、あつという間に広がり、その全てを消し去ることはできません。

携帯「いじめ」の手口

①誹謗中傷メール

「死ぬ…」などといじめメールを書き込みます。

②プロフへの誹謗中傷

プロフを見た人が「きもい。うざい。死ぬ。」などと書き込みます。

※プロフ

インターネット上で自己紹介のページを作成することのできるサービスをいいます。

③「なりすまし」いじめ

その人になりすましてプロフを作成し、周りの人の悪口を書きます。

④個人情報暴露

写真を隠れて撮って載せます。

⑤動画撮影

動画共有サイトにいじめ動画を載せます。

子どもを携帯から守るために

携帯は、使い方によっては犯罪など

トラブルに巻き込まれ、被害者にも、加害者にもなります。

我が子を携帯トラブルから守るためには、親の責任が重要です。

①携帯の危険性をよく理解させます。

②我が家のルールを決めます(時間、場所、目的、禁止事項など)。

③身に覚えのないメールには絶対に返信させないようにします。

④受信拒否設定で不要なメール、悪意のある人からのメールを受け取らせないようにします。

⑤フィルタリング(アクセス制限)を使って、有害サイトを防止します。

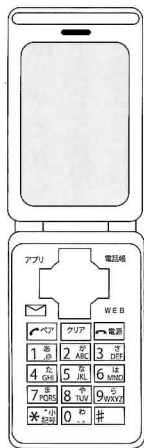
⑥チェーンメールは転送させず削除させます。

⑦個人情報暴露は載せさせません。

⑧掲示板などにいたずらさせません。

携帯のちよつと気になる話

ある中学校で、携帯電話と学力の関係調べたところ、携帯を持つ生徒は、持っていない生徒に比べ5教科合計平均の差が、3年生で37点、2年生で67点低いという結果がでました。あなたは、気になりますか。



後期高齢者医療保険料の納め忘れはないでしょうか？

平成22年8月に後期高齢者医療被保険者証(有効期限が平成23年7月31日)を交付させていただく予定です。しかしながら、後期高齢者医療保険料の未納がある場合には、有効期限が通常より短い被保険者証などになる場合があります。

後期高齢者医療保険料に関する督促状や催告書がお手元に届いている場合には、お早めにお近くの金融機関などで納めてください。もし、お手元に納付書などが見つからない場合や納付状況について不安な場合などございましたら、市民生活課 年金・医療担当または税務課 収納対策室までご連絡をください。

また、普通徴収にて納付されている場合には、納め忘れのない口座振替が便利です。口座をお持ちの金融機関窓口にて手続きができますので、ご活用ください。

問合先

市民生活課 年金・医療担当
税務課 収納対策室

